財務諸表に対する注記

1　重要な会計方針

（1）有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債権であり、償却原価法（定額法）を採用している。

（2）固定資産の減価償却について

固定資産の減価償却は、定額法によっている。

（3）消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税抜方式によっている。

2　基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。　（単位:円）

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
（基本財産）				
定期預金	30,000,000	0	0	30,000,000
投資有価証券	70,000,000	0	0	70,000,000
小　計	100,000,000	0	0	100,000,000
（特定資産）				
リサイクルヤード完了工事準備資金	40,000,000	30,000,000	0	70,000,000
小　計	40,000,000	30,000,000	0	70,000,000
合　計	140,000,000	30,000,000	0	170,000,000

3　基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。　（単位:円）

科　目	当期末残高	（うち指定正味財産からの充当額）	（うち一般正味財産からの充当額）	（うち負債に対応する額）
（基本財産）				
定期預金	30,000,000	(0)	(30,000,000)	(0)
投資有価証券	70,000,000	(0)	(70,000,000)	(0)
小　計	100,000,000	(0)	(100,000,000)	(0)
（特定資産）				
リサイクルヤード完了工事準備資金	70,000,000	(70,000,000)	(0)	(0)
小　計	70,000,000	(70,000,000)	(0)	(0)
合　計	170,000,000	(70,000,000)	(100,000,000)	(0)

4　固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高は次のとおりである。　（単位:円）

科　　目	取得価格	減価償却累計額	当期末残高
構築物	232,214,192	140,674,839	91,539,353
器具備品	20,798,563	12,487,571	8,310,992
合　計	253,012,755	153,162,410	99,850,345

5　満期保有目的の債権の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は次のとおりである。（単位:円）

科目	帳簿価額	時　価	評価損益
大阪市債	70,000,000	70,504,000	504,000
合　計	70,000,000	70,504,000	504,000